

第 11 回村野藤吾建築設計図展 開催のお知らせ

■タイトル

[第 11 回村野藤吾建築設計図展](#)
[—新出資料に見る村野藤吾の世界—](#)

■概要

村野藤吾は、1920年代から80年代にかけて活躍し、文化勲章をも受章した近代日本を代表する建築家です。京都工芸繊維大学美術工芸資料館では、数万点におよぶ村野藤吾の図面資料を所蔵しており、1999年から2008年まで毎年、10回にわたって「村野藤吾建築設計図展」を開催し、図面資料を通して村野藤吾の魅力に迫って参りました。

このたび、未整理状態にあった本学美術工芸資料館の資料群の中から、これまで知られていない多数の図面資料が新たに発見されました。そこで、その「新出資料」の中から、際立った特徴を持つ作品に焦点を当て、その豊かな細部や村野ならではの創造の世界に迫るべく、第11回となる村野藤吾建築設計図展を開催いたします。

「新出資料」の多くは、いわゆる戦中期に設計された、村野の中でも従来あまり知られていない時期の作品となっています。しかし、その図面からは、戦中期も精力的に仕事に取り組み、村野の特有の豊饒な世界を構想し、図面上で推敲を重ねた様子が伝わってきます。

近年、村野の作品は、国の重要文化財など文化遺産として高い評価を受け、保存活用も進められています。しかしその一方で、解体の危機に瀕している作品も複数存在します。比較的近年に造られた作品でさえ、すでに解体されてしまったものや、内部を中心に大きく改装されてオリジナルの姿を留めていないものが見受けられます。この展覧会の開催が、村野の豊饒な作品世界についての新たな知見をもたらすよい機会となることを期待しています。

■展覧会概要

第 11 回村野藤吾建築設計図展

テーマ：「新出資料に見る村野藤吾の世界」

2012年2月6日(月)～5月6日(日)(日曜・祝日および2月25日(土)・3月12日(月)・13日(火)は休館。ただし4月29日(日)～5月6日(日)の間は開館。)

開館時間：10：00～17：00(入館は16：30まで)

場所：京都工芸繊維大学美術工芸資料館

(京都市左京区松ヶ崎御所海道町、京都市営地下鉄松ヶ崎駅下車徒歩10分)

入場：一般200円、学生150円、高校生以下無料

■シンポジウム

シンポジウム：2012年4月21日（土）

時間：14：00～17：00

パネリスト：

青木 淳（建築家・青木淳建築計画事務所主宰）

清水重敦（建築史家・奈良文化財研究所研究員）

石田潤一郎（京都工芸繊維大学大学院教授）

司会：松隈 洋（京都工芸繊維大学美術工芸資料館教授）

会場：京都工芸繊維大学60周年記念会館1階講義室

（京都市左京区松ヶ崎橋上町、京都市営地下鉄松ヶ崎駅下車徒歩10分）

定員：150名（当日先着順）

入場：無料（申し込み不要）

■出品予定作品

- ・加能合同銀行本店（現・北國銀行武蔵ヶ辻支店／1932年竣工）
- ・キャバレー・アカダマ（現存せず／1933年竣工）
- ・そごう大阪店（現存せず／1935年竣工）
- ・大丸神戸店（現存せず／1936年竣工）
- ・宇部市民館（現・渡辺翁記念会館／1937年竣工）
- ・高島屋飯田（現存せず／1937年竣工）
- ・客船用家具（あるぜんちな丸・ぶらじる丸など／現存せず／1938年ほか竣工）
- ・都ホテル（現・ウェスティン都ホテル京都／1939年竣工）
- ・中山半邸（現存せず／1940年竣工）
- ・橿原神宮駅（現・橿原神宮前駅、1940年竣工）
- ・中林邸（現存せず／1941年竣工）
- ・牧野山の家（現存せず／1946年竣工）

■主催

京都工芸繊維大学美術工芸資料館

村野藤吾の設計研究会

■問い合わせ先

京都工芸繊維大学美術工芸資料館

〒606-8585 京都市左京区松ヶ崎御所海道町

Tel：075-724-7924 Fax：075-724-7920

E-mail：siryokan@kit.ac.jp